

講演 5 家族介護者をいかに支えるか ～大学の立場から～

埼玉県立大学研究開発センターシンポジウム2021

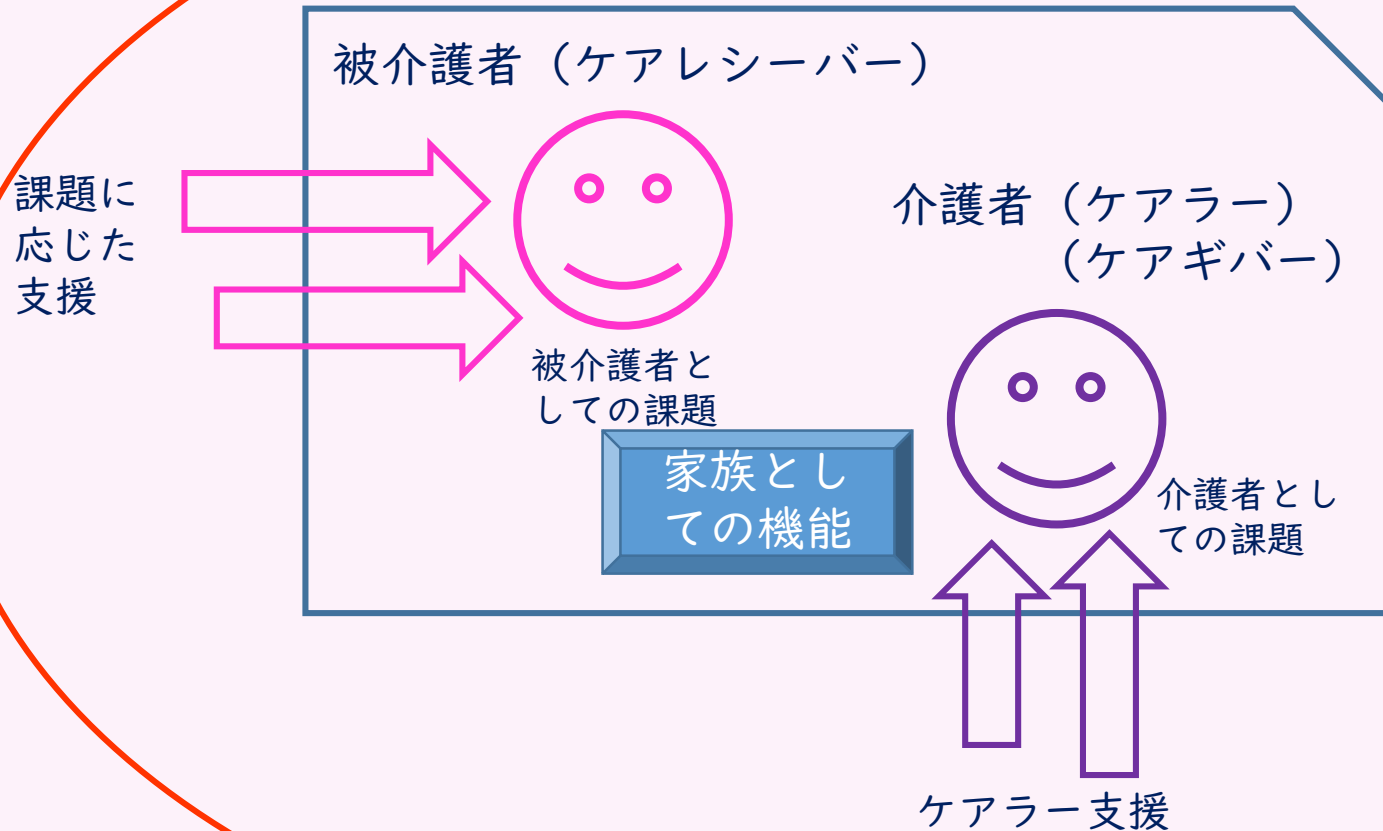
－家族介護の実態から介護者支援のあり方を考えよう！－

朝日雅也（埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科）

お伝えして共に考えたいこと

- ❖ 家族介護者を支援する意義
- ❖ 大学の機能と家族介護者支援
- ❖ 教育活動における支援
- ❖ 研究活動における支援
- ❖ 地域貢献活動における支援

❖ 家族介護者を支援する意義



- ❖ トータルな家族支援
- ❖ 家族の複合課題の社会的解決・改善

❖ 大学の機能と家族介護者支援

教育活動

研究活動

地域貢献活動

❖ 教育活動における支援

○保健医療福祉分野における基本的な関わり

ヒューマンケア論（全学必修） ➡ 認知症高齢者を介護する家族の話

○IPW（専門職連携）実習（4年次・全員必修）における介護者支援の実践的学び
【例】

援助計画を策定する上での「介護者」へのインタビュー

重要となる「介護の担当者（分担者）としての家族」からの解放の気づき

○専門領域における介護者支援

【例】

看護学科 ➡ 従前より介護者支援を意識した教育展開
（特に老年看護学、精神看護学など）

社会福祉子ども学科

➡ 介護者支援、障害のあるきょうだい支援など

➡ 同時に「親なき後」問題などへの適切な支援のあり方の探求

卒業研究 『障害児・者のきょうだいのライフストーリー ―生まれ続く葛藤とその特徴に応じた支援の考察―』

➡自身の経験の言語化、保健医療福祉系進学のきっかけの振り返り

❖ 研究活動における支援

○本学研究開発センタープロジェクト研究におけるケアラー支援

❖ 「包括的ケアラー支援における支援者間連携に関する基礎的研究」

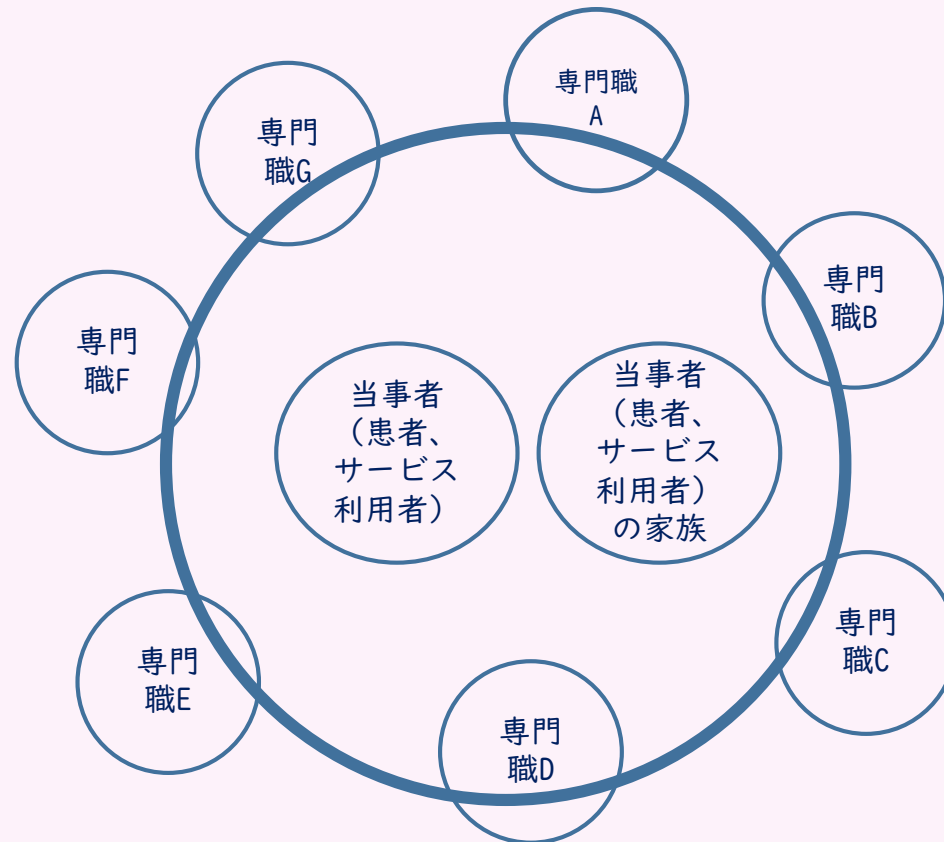
- ・ ケアラーおよびケアラー支援の概念分析
- ・ 支援者間の連携に関する課題の整理
- ・ ケアラー・アセスメントツール（試案）の作成

○教員の専門領域における介護者支援

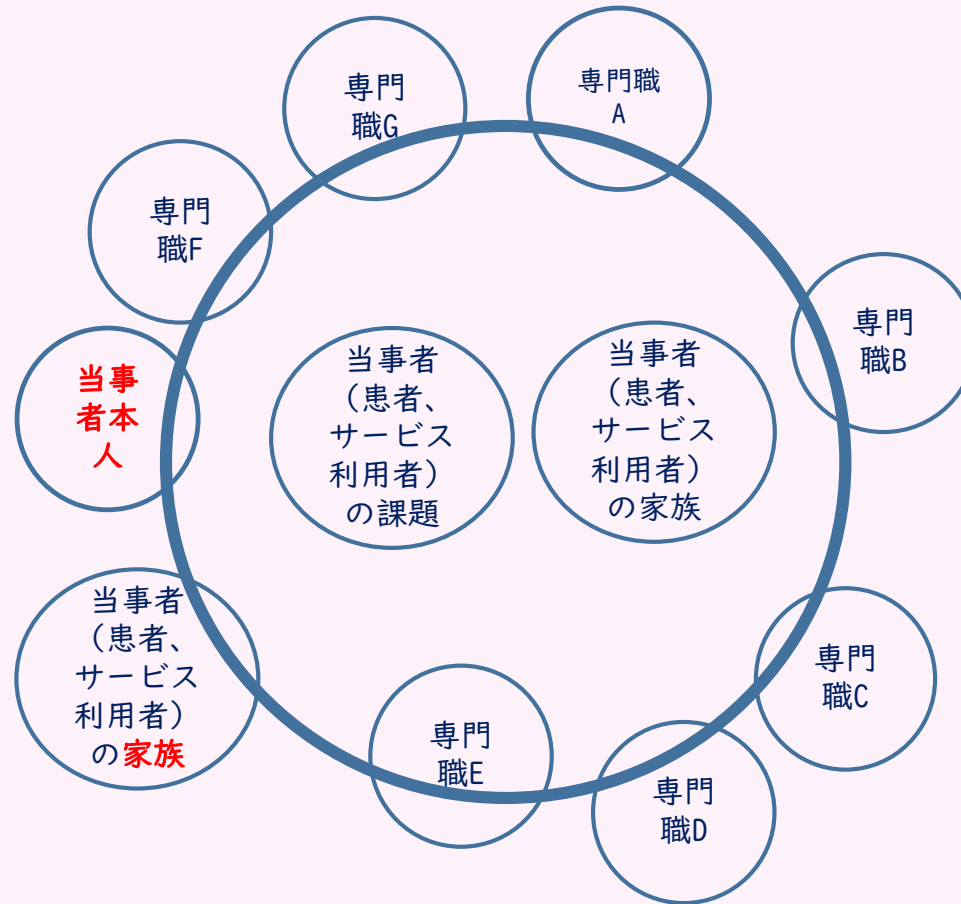
【例】 教育活動とも連動して、
看護学科
社会福祉子ども学科 等の教員による介護者支援研究

➡ベースとなる「介護者もまた支援の対象者」

当事者を中心においたチーム支援（連携）



当事者の課題を中心においたチーム支援（連携）



❖ 地域貢献活動における支援

- 学生の学習ボランティア等を通じた支援（特にヤングケアラー）
- 当事者（家族）会への支援 運営や講座の実施
- 自治体の審議会・委員会等における教員からの発信（特に、保健福祉系の計画策定における課題提起）
 - ➡ 家族介護者、ケアラー概念、ケアラー支援の本質に関する周知等
- アウトリーチ型の「支援ニーズ」の把握への参画 等

❖ まとめとして

○家族介護者の支援について、大学の多様な機能を踏まえた対応は、特に保健医療福祉系の高等教育機関としても重要な使命である。

○その際、家族介護者を支援すると同時に、被支援者の課題を解決するための社会的な支援、あるいは地域での連携促進が重要であり、これらを結び付け、客観的にこの問題に向き合う上で、大学が果たす役割は大きい。

○大学においては主要な構成メンバーである学生と教職員が連携をしながら、教育研究活動の充実を踏まえた「中・長期的」な展望にたった支援もまた求められる。